

# 「湯の花の里」 老朽化した内装の修繕は

佐藤 信男議員



小規模な修繕は、その都度進める  
保険福祉部長



▲工事が進む天然温泉の「湯の花の里」

**問** 佐屋老人福祉センター「湯の花の里」の工事内容は。

**答** 外壁修繕工事と屋上防水工事だ。

**問** 「湯の花の里」の老朽化した内装の今後の修繕は。

**答** 小規模な修繕は、その都度指定管理者が進める。大規模な修繕は、計画的に市で進める。

**問** 新型コロナウイルス感染症の対応で、お風呂の人数制限をどのように変更したのか。

**答** 予約制で運営し、より多くの方が利用できるよう140人から、280人にした。

**問** 高齢者福祉への今後の考えは。

**答** 住み慣れた地域でいつまでも暮らし、健康寿命を延ばし、親しみやすく通いやすい憩いの場を考えたかなければならない。

要援護者に配慮した  
応急仮設住宅は

**問** 佐屋プール跡地の応急仮設住宅用地は、浸水は大丈夫か。海拔はどれくらいか。

**答** プール跡地で海拔1・6m、グラウンドで0・6mだ。概ね問題ない高さだ。

**問** 災害時に応急仮設住宅を建設できる場所は、他にあるのか。

**答** 市役所西側の佐屋スポーツセンターだ。

**問** 大地震が発生したら、市内に応急仮設住宅は、何戸必要と見込んでいるのか。

**答** 東海・東南海・南海地震等被害予測から、家屋被害予測数1100戸の20%で約220戸の確保だ。

**問** 高齢者や障がい者などの要援護者に配慮した応急仮設住宅の建設はできるか。

**答** スロープや生活援助員室を設置するなど高齢者等が居住しやすい構造や設備を有する福祉仮設住宅はできる。

**問** 大災害における高齢者の応急仮設住宅の支援体制は。

**答** 特に自治会・民生委員・ボランティアの連携体制による支援活動が必要である。